

平和通りでカレッジ生が大活躍

ミニ上棟式・木工教室・包丁研ぎ・紙芝居などでカレッジと商店街との交流

カレッジ通信

発行

東京建築
カレッジ
豊島区池袋
1-8-6

学校見学会

11月7日(金)

12月6日(金)

13時から16時まで

いずれも江東実習場にて

実習棟作製に向けて一足早く上棟式

10月26日(日)池袋の平和通り商店街のイベントが開かれ、当校も多くの企画・準備を行って参加しました。このイベン

トは地域振興の企画で毎年行われ、池袋駅近辺では地味な北口をアピールしています。カレッジは豊島支部と共にミニ上

棟、木工教室、包丁研ぎ、四方転び踏み台販売、紙芝居盛り沢山の企画。朝8時からの準備が整い、小林学校長、



上棟式でカレッジ生の菓子撒きで大賑わい。

平井理事長の挨拶で開始。当日は天気も良く多くの来場者で賑わいました。研修生は月曜日から木曜日まで現場で働き、金曜土曜と授業に出席している中でのイベントが、熱心に取り組

人気の企画

んでいました。

中でも3回行われたミニ上棟式に多くの人が集まり、研修生と指導員が協力して上棟し、研修生が屋根からお祝いの菓子をまくのは模擬とはいえダイナミックでした。

一昔前ははこのような光景は良く見られました。町場主体の現場が減り、餅まきをする上棟式も少なくなりました。懐かしさと物珍しさもあって、平和通に

木工教室も大盛況



歓声が上がっていました。本物の上棟式が出来たよう研修生のこれからの活躍に期待したいです。

東京土建のイベントではお馴染みの木工教室行われ、1年生と2年生が協力し、子どもたちに玄翁(げんのう)の使い方などを指導し、ミニ道具箱作成をしました。最初はどうか教えるか戸惑っている



研修生も子供たちと楽しく工作し笑顔がこぼれる。

様子でしたが、徐々に慣れていき、子どもたちと一緒に楽しんでいました。初めて玄翁に触れる子どもも多く、中には手を叩かれてしまった。研修生もいました。道具箱が完成すると研修生が大きな声で「おめでとう!」と声を掛けられ、嬉しそうにしながら道具箱を眺めていた。研修生が主体となつた木工教室はイベント開始直後から終了まで、ひっきりなしで43個を子どもたちと作り上げました。



豊島支部との協力で包丁砥ぎも行われました。こちらは受け付けた刃物を校舎の地下にある実習室で砥ぎました。土建のイベントと言えば包丁砥ぎと住民にも定着しているためか、開始直後から申し込みがあり、指導員と豊島支部の組合員さんが手間を掛けて136丁を丁寧に砥ぎ上げられました。

午後3時には終了時刻となり、けが人もなく無事に終わり、夕方からの疲れ様会で参加者の労をねぎらいました。

人気の包丁砥ぎも行われた



前回のカレッジ通信でお伝えした通り、18期生の造った実習棟の解体が終了しましたが、間髪いれずに19期生の実習棟の作成が始まりました。板図描き、尺杖製作が終了し、各部材ごとに班分けが行われ、墨付けの段階に入っています。先日の解体実習で実際の継手仕口を確認することができたので、製作を前にして良い経験となりました。来年

実習棟製作 始まる！

の1月の上棟を目指し、これから約3ヶ月の厳しい訓練が始まります。技術だけではなく、班としての団体での製作や他の部材作成班とのコミュニケーションな

18期生は四方転び踏み台大詰め

ど、より建築現場としての実践的な作業となります。研修生は「これから大変だが頑張る」「楽しみだ」「しっかりとやらなければ」と気合が入っています。

全国青年技能競技大会が先月終了しましたが、まさに2年生は実習で四方転び踏み台を製作していきます。規矩術を駆使しての墨付けや、削る、刻むなどすべての作業で高度な技術が必要としてます。皆苦心しながら組み上げ、完成した者は、感慨に更ける間もなく、2台目の製作に取り掛かります。自分で作ることで、大会で受賞した指導員の先生の技術のすごさを実感します。来年の競技大会にみな選手として出ることを目指していま



この実習が終ると、いよいよ卒業時の技能照査のための実習となります。課題の棒隅木は高い技術が必要とされます。卒業制作と奈良研修など卒業までの約半年もまだまだ、18期生も気を抜けない日々が続きます。

紙芝居の始まりはじまり



平和通りイベントで今年もカレッジの熊谷さんの紙芝居が行われた。昭和の雰囲気をも出しノスタルジックな格好で拍子木をうち鳴らすと始まりの合図。子どもたちが大勢集まって、物語とクイズで子どもたちは熊谷さんの語りに引き込まれていた。特にクイズのときには皆大きな声で、元気よく手を上げて答えようとしていた。正解すると景品がもらえ大喜び。イベント中全部で3話を読み聞かせ、多くの子供達を楽しませていた。水飴や型ぬきも売っていて、時代は変われど子どもが好きなものは変わらないようだ。

20期生合格者4人目

10月28日(火)に3回目の選考会が行われ4人目の合格者となりました。来春に卒業予定の高校生、前回までの合格者3名の内2名も同じく高校を来春卒業予定、同世代の仲間がいることはお互いに頼もしいはずで、これから2月まであと3回の選考会が行われます。目標



の20人まで組合員皆さんのご協力をお願いします。

選考会の予定は
12月2日(火)、
1月27日(火)、
2月24日(火) いずれも午前10時から池袋校舎で。まずは資料請求を。

ミニミニ通信

先日、自宅にあった古いノミがボロボロにさびていたので、研修生に教わりながら砥いでみたところ、1時間掛かってほとんど砥げなかった。しかも、翌日全身筋肉痛になった。何本も涼しい顔で研いでいる研修生や、競技会に出る選手のように何十本も使うことの凄さを実感した。